

わが校のストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～

いじめをしない、させない、見逃さない学校

子どものアクション

○明るく楽しい学校に！

石山小6つのやくそくの提唱

- ・あいさつをきちんとしよう
- ・人の話をしっかり聞こう
- ・たたいたりけったりしない
- ・きまりを守ろう
- ・人の喜ぶことをしよう
- ・時間を守ろう

○児童会活動による運動

- ・思いやりの心を育てる「サンキュー運動」での取組。
(朝のあいさつ、ポスターでの啓発等)
- ・代表委員会での困りごと解決。
- ・たてわり活動での人間関係づくり。

家庭や地域とのアクション

- ・学校協力者会議、学区民会議、地域の会議等で、いじめに関する学校での取組に関して報告、協議。
- ・保護者や地域の方に、いじめに関する学校での取組、その実施状況・結果の発信。
- ・全家庭への学校生活についてのアンケートの実施。

教職員のアクション

○いじめ問題に対する職員の意識改革

- ・全職員が「いじめを絶対に許さない。いじめられている人を守り通す。」と確認・実行。
- ・いじめの問題に対する意識や実践力を高めるための研修会を実施。
- ・いじめを見逃さないために、職員の意識調査の実施。

○児童理解に努める

- ・普段の授業時間から休み時間、給食時等まで、子どもたちとのふれあいに心がけ、信頼関係の構築に努める。
- ・ふれあい強化月間（6月・10月・2月）を設け、アンケート調査や教育相談を実施。

○積極的にいじめ問題に対応する

- ・週1回、連絡会を開き、子どもたちの様子を確認。学校全体で子どもたちを見守る体制の構築。
- ・いじめの疑いがある事案に対して、組織で対応していく。
- ・いじめには、校長をリーダーとして教職員全員で毅然とした対応をとる。
- ・異年齢による集団活動や学校行事を充実させ、人間関係形成力の育成に努める。

石山小学校の現状

- ・乱暴な言葉遣いやいたずらなどの問題行動があり、いじめにつながる危険性がある。
- ・子どもたちが互いに注意し合い、支え合う意識を高め続ける必要がある。
- ・教職員のいじめに対する意識、子どもたちからのサインをキャッチする感受性を磨き続ける必要がある。